

ListenTALK

ユーザーマニュアル



モバイル双方向
コミュニケーション
システム

LISTEN
TECHNOLOGIES

www.listentech.com

お客様各位

Listenをお買い求めいただきありがとうございます! 当社は誠心誠意に最高の製品を提供致し、お客様にご満足頂けますよう比類のない性能をお届けすることに誇りを持っております。

当社は独立して各製品を最高基準に適合していることを証明し、制限ある寿命保証にて支援しています。当社製品の取付中や作動に関する質問に受け答えいたします。Listenでは、全てはお客様のため、いかなるコメントや提案がございましたら、当社にお聞かせください。

当社への連絡先:

+1.801.233.8992 +1.800.330.0891 北米

+1.801.233.8995 ファックス support@listentech.com

www.listentech.com

リスニング体験をお楽しみください!

よろしくお願い致します。

Russell Gentnerおよび Listenチーム

LISTENTALK目次

4	前置き
5	コンポーネント
5	定義
6	安全遵守事項!
7	トランシーバー・クイックレファレンス
9	ドッキングステーショントレイ・クイックレファレンス
11	トランシーバー仕様
13	ドッキングステーショントレイ・クイックレファレンス
14	システムセットアップ
16	トランシーバー – 一般的な操作
17	システムトークバックモード
18	ListenTALKセキュリティ
18	トランシーバープログラミング
21	ドッキングステーション操作
21	拡張機能
22	ソフトウェアスイート
22	アクセサリー
22	アプリケーション
23	システムトラブルシューティング
24	コンプライアンス通知およびFCC(連邦通信委員会)声明とカナダ産業省声明
25	保証
25	連絡先情報

前置き

ListenTALKは、トレーニングやコラボレーション等、様々なアプリケーションでのグループコミュニケーション向けワイヤレスコラボレーションシステムです。補助的リスニング、ガイド付きツアーグループ、言語通訳と翻訳、イベントプロダクションおよびスポーツインターカム。

シンプルかつ多目的

ListenTALKシステムは購入と設定がシンプルであり、非常に多目的です。ドッキングステーションのボタンを押し、ListenTALKソフトウェアのマウスをクリックまたは内蔵近距離無線通信(NFC)テクノロジーを使用中にListenTALKグループを作成します。同じエリアで10まで同時グループを使用できます。

ListenTALKトランシーバーは作動がシンプルであり、リーダーは、会合場所やアプリケーションのニーズに見合うよう3つの参加者モードの1つを簡単に指定できます。

信頼性があり安心

過密な2.4 GHz周波数帯の代わりに、ListenTALKは全二重1.9 GHz帯で作動し、信頼性の向上と干渉低減のため周波数ホッピングとスペクトラム拡散テクノロジーを使用します。ヘッドセットスタイルが静かな環境または雑音下で使用可能です。

Listenはお客様のセキュリティ問題を理解していますので、ListenTALKは40ビット (ピンフリー) グループサブスクリプション、32ビット認証そしてセキュアな会話を保証する64ビット暗号化方式から成る多層セキュリティプロトコルが備え付けられています。

LISTENTALKへようこそ!

ListenTALKはシンプル、多目的、スケーラブル、安全かつ信頼性あり!

LISTENTALKコンポーネント



ListenTALKトランシーバー LK-1

ListenTALKという言葉は、全体として携帯用ListenTALKトランシーバーに対するシステムを言及します。



ドッキングステーション 16トレイ

オプションListenTALK ドッキングステーション16は、管便利、プログラミングそしてListenTALKトランシーバーの充電スタンドとしての役割を果たします。ドッキングステーションによりListenTALKグループの作成および他のタスクの実行が簡単です。



ドッキングステーションケース16

オプションListenTALKドッキングステーションケースは、保管便利、プログラミングそしてListenTALK トランシーバー用充電スタンドとポータブル 携帯ケースの役割を果たします。ドッキングステーションケースはドッキングステーション16 トレーの機能全てを提供します。



アクセサリ

ListenTALKアクセサリは、ドッキングステーション16トレイ、幾つかのヘッドセットとアルカリ電池ケース向けインテリジェントケーブルマネジメントユニットを含みます。ListenTALKトランシーバーはStandardmart電話ヘッドセットとも使用可能であることをご留意ください。



ListenTALK ソフトウェアスイート

Windowsコンピュータで利用可能、ListenTALKソフトウェアによりListenTALKグループの形成やListenTALK状況確認のためのListenTALKのペアリングが簡単であり、最新プログラミング機能が多く含まれます。(ページ21参照)

LISTENTALK定義

ListenTALKグループ

ListenTALKグループは対応するListenTALKトランシーバーが2つ以上あります。

ペアリング

ペアリング はListenTALKトランシーバーがグループになるプロセスです。ListenTALKトランシーバーはNFC (近距離無線通信)によりドッキングステーションまたはListenTALKソフトウェアと対になることが可能です。

リーダー、サブリーダー と参加者

グループは1人のリーダー、1人以上のサブリーダー(オプション)そして1人以上の参加者から成ります。ミュージアムツアーでは、ミュージアムガイドがリーダーとなり、アシスタントガイドがサブリーダーとなり、そしてミュージアムゲストが参加者となります。

ListenTALKセキュリティ

ListenTALKグループ内の会話 は特殊ペアキーにより暗号化され、グループを別のグループと分け、各グループ内のセキュアな会話を保証します。ペアキーはグループリーダーにより生成され、各サブリーダーと参加者により共有されます(ページ18参照)。

LISTENTALK安全遵守事項!

ヒアリングの安全性

本製品はオーディオを高音量レベルまで増幅するよう設計されていますが、不適切に使用される場合聴覚障害の原因となる可能性が潜在的にあります。お客様の聴覚を保護するために、ヘッドセット着用前にボリュームが下げられていることをご確認ください。それから、はっきり聞こえるに必要な最低限の設定までボリュームを上げ調整します。お子様または関係者以外の者が指示なく本製品を使用することを許可しないでください。

医療用具の安全性

埋め込み可能またはその他医療用具と本Listen 製品を併用する前に、かかりつけの医者または埋め込み可能またはその他医療用具製造業社にお問い合わせください。

かかりつけの医者または埋め込み可能デバイス製造業社により設定されたガイドラインに従って本製品を使用していることを常に確認してください。

リサイクル

Listen Technologiesの環境保護をお手伝いください! 適切に設備の廃棄を行うためにお時間をお取り下さい。



製品リサイクル説明

お客様のListen Technologies設備を家庭ごみとして廃棄しないでください。電子廃棄物リサイクルセンターに設備を持って行く、または適切な廃棄のために製品を向上に返却ください。



バッテリーリサイクル 説明

バッテリーを家庭ごみとして廃棄しないでください。バッテリーをリサイクルのため小売店またはコミュニティ集積所に持って行ってください。



LISTENTALK トランシーバー クイックレファレンス

- 1 内蔵マイクroフォン**
 内蔵マイクroフォンは参加者により使用可能です。最良の結果として、リーダーがヘッドセットに備え付けられた外部マイクroフォンを使用すべきです。ホームページ(www.listentech.com/assistive-listening/listentalk/)を参照し、幅広いヘッドセットやアクセサリから選択してください。
- 2 グラフィックディスプレイ**
 グループ名/番号、充電状態、バッテリー寿命、プロフィールモード、ソフトボタンメニューそしてボリュームレベル等、状況に応じた情報を表示します。
- 3 ソフトボタン**
リーダー: 左ソフトボタンがシステムトークバック モード (オフモード、リーダーモードまたはグループモード ページ17参照)からスクロールします。右ソフトボタンはペアリングを初期化します。両方のボタンがトランシーバープログラミングのため作動します(ページ18参照)。
参加者: ソフトボタンはトランシーバープログラミング中を除き無効です(ページ18参照)。
- 4 トークボタン &メニュー終了**
リーダー: トークボタンを押しトークとミュート間をトグルします。
参加者: トークにはトークボタンを長押しします; ミュートにはリリースします。
- 5 光センサー**
 自動的に周囲光条件をもとにグラフィックディスプレイを明るく、または暗くします。
- 6 リムーバブルベルトポケット/ランヤードクリップ**
 ランヤードを使用するには、その金属リングをベルトクリップ先端のスロットに留めます。それから、ランヤードを十分な長さまで調整し、使用者の頭の上から着けます。代わりに、使用者のベルトの上にベルトクリップを簡単に付けることもできます。
- 7 再充電バッテリー**
 ドッキングステーションでのListenTALKの充電またはマイクロUSBポートのUSB充電器と接続します。バッテリードア上のボタンを押し下げバッテリーコンパートメントにアクセスします。アルカリ電池(再充電不可能)はオプション アルカリ電池バッテリーケースおよび単4サイズアルカリ電池を取り付けることで使用可能です。
- 8 近接場アンテナ**
 リーダーがサブリーダーまたは参加者とのペアリングが可能となり、ページ15に述べられたようにグループを形成できます。



LISTENTALK トランシーバー クイックレファレンス

9 ボリュームコントロール & メニューナビゲーション

操作: ヘッドセットボリュームをコントロールします。

プログラミング: グラフィックディスプレイに表示されるメニューをナビゲートします。

10 マイクロUSB

マイクロUSBを標準USB 充電器に接続しListenTALKを充電します。Windowsコンピュータに接続しListenTALKソフトウェアスイートを使用してListenTALKをプログラムします。

11 電源ボタン & ステータススクリーン

ListenTALKの電源を1秒間長押しするとステータススクリーンが表示されます。3秒長押しすると電源オフになります。使用中ステータススクリーンを表示するには瞬間的に押してください。

12 ステータスインジケータ

ステータスインジケータは充電中点滅し、ListenTALKが完全に充電すると点灯します。リーダーまたはサブリーダーステータスインジケータが赤くなると、トークボタンを押した後にミュートを示します。

13 リーダー クリップ

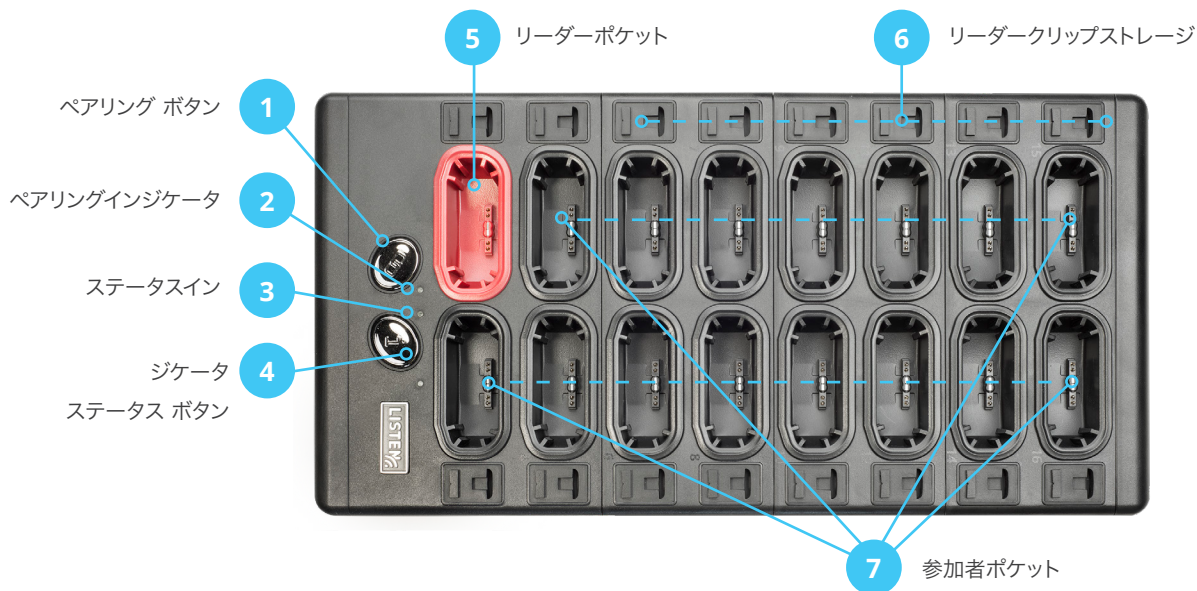
ステータスインジケータは充電中点滅し、ListenTALKが完全に充電すると点灯します。リーダーまたはサブリーダーステータスインジケータが赤くなると、トークボタンを押した後にミュートを示します。

14 3.5mmヘッドセット/マイクロフォン ポート

ホームページ(www.listentech.com/assistive-listening/listentalk/transceiver-headsets/)などで入手可能なヘッドセットをご利用ください。ListenTALKトランシーバーが市場にある標準的なヘッドセット/イヤフォンを承認していることをご注意ください。

15 充電器コンタクト

ドッキングステーションに設置された際にListenTALKが自動的に充電することを可能にします。また、ListenTALKソフトウェアが備え付けられたWindowsコンピュータとのコミュニケーションを可能にします。



LISTENTALKドッキングステーショントレイ・クイックレファレンス

1 ペアリングボタン

ListenTALKグループを形成したいトランシーバーをリーダーと参加者ポケットにそれぞれ挿入してドッキングステーションペアリングボタンを瞬間的に押します。注:ドッキングステーション ペアリングボタンを瞬間的に押すにはリーダー既存ペアリングキーを使用します。新しいペアリングキーを作成するには、5秒間ペアリングボタンを長押しします(ページ15も参照)。

2 ペアリングインジケータ

ペアリングインジケータはペアリング中点滅し、それから瞬間的に点灯し、ペアリングプロセスが完成しますと最後に消えます。ペアリングインジケータとステータスインジケータ両方は点滅してから新しいペアキー生成中に消えます(ページ21参照)。

3 ステータスインジケータ

ステータスインジケータはステータス ボタンがアクティブな際に光ります。

4 ステータス ボタン

ステータスボタンを長押しすると、グループ識別や個人ListenTALK情報向けListenTALKグラフィックディスプレイを明るくします。

5 リーダーポケット

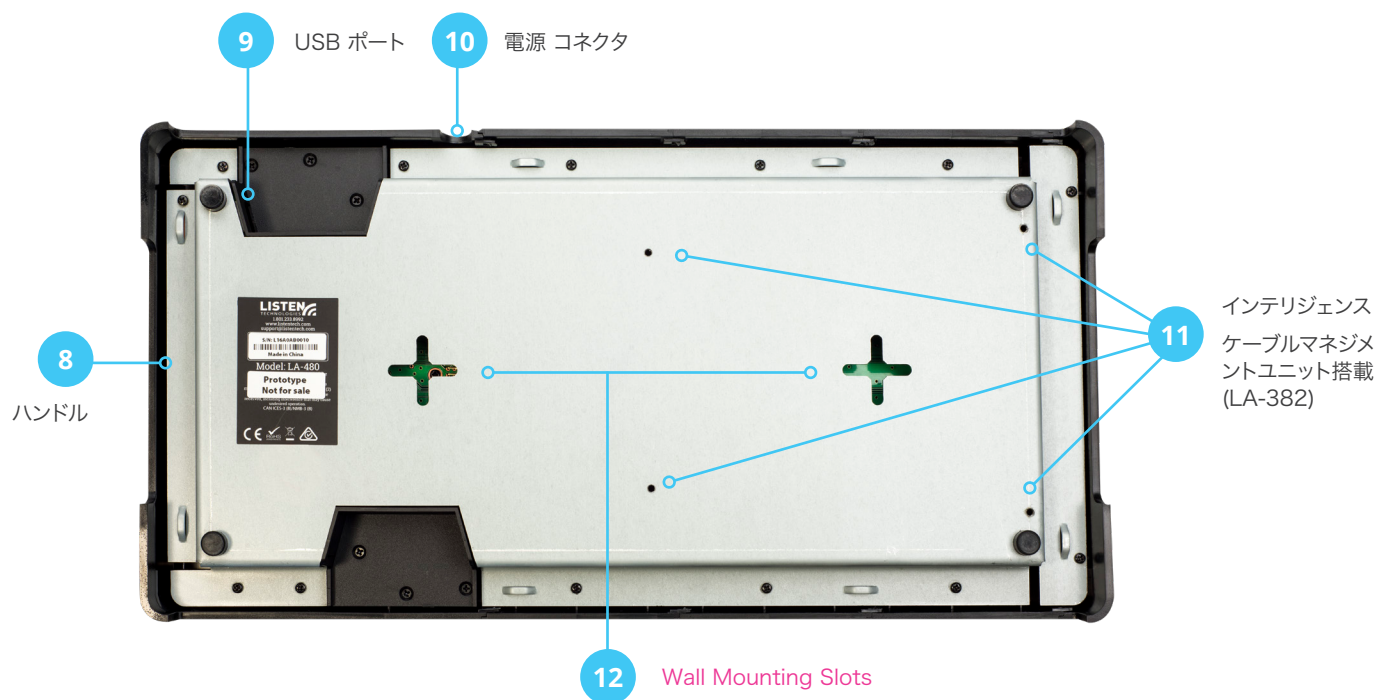
充電、ペアリングそしてプログラミングに使用。

6 リーダー クリップ ストレージ

未使用リーダークリップをこれらストレージタブに留めます。

7 参加者ポケット

充電、ペアリングそしてプログラミングに使用。



LISTENTALKドッキングステーショントレイ・クイックレファレンス

- 8 ハンドル**
 ドッキングステーション トレー保持用ハンドル。
- 9 USBポート**
 Windowsコンピュータに接続し、ListenTALKソフトウェアを使用してListenTALKトランシーバーのプログラム、ペアリングそして在庫の管理をします。
- 10 電源コネクタ**
 電源を本電源コネクタに、そして電源コードを標準 ACアウトレット(100/240 VAC、50/60 Hz)に接続します。
- 11 インテリジェンスケーブルマネジメント ユニット搭載(LA-382)**
 オプションのドッキングステーション・インテリジェンスケーブルマネジメントユニットはこれらホールにしっかり留めます。
- 12 壁取り付けスロット**
 M1/4"ヘッド6インチのねじ2本をばらばらに壁に取り付けます。ドッキングステーション16をねじ頭に滑らせます。

LISTENTALKトランシーバー仕様*

物質

寸法 (H x W x D)ベルトクリップ付き	10 x 5.4 x 2.4 cm (3.93 x 2.13 x 0.93 in.)
寸法 (H x W x D) ベルトクリップなし	10 x 5.4 x 1.6 cm (3.93 x 2.13 x 0.63 in.)
重量	79 g (2.79 oz.)
出荷重量	206 g (7.20 oz.)プラス454 g (1.0 lbs.) 最小限
同封材質	PC ABS樹脂
インジケータ	ディスプレイ - 64 x 128 OLED、可変性明るさLED - 赤/白 多機能 (ミュート、充電ステータス)
ユーザー コントロール	ボリュームアップ、ボリュームダウン、トーク、電源/ステータス、トークモード、ペアリング
プログラミング	トランシーバー上のソフトウェアやUSBポートを介して、またはドッキングステーション上のソフトウェア やUSBポート
接続	ヘッドセット - 3.5mm TRRS, CTIA コンプレイントUSB - マイクロUSB, 充電器のコントロールと充電- 4コンタクト、コンタクトと充電

オーディオ

ヘッドフォン出力	
スピーカーロード	16 - 32 ohmロード
最大出力電源	67 mW, 16-ohmロード、クリッピング閾値
サイドトーン	調整可能
マイクロフォン入力	
互換性	エレクトレット、外部バイアス
バイアス	3ボルト、2 mA 極大電流
入力感度	-28から- 50 dBV/Pa
内蔵マイクロフォン	
スイッチング	ジャック挿入またはマニュアルで自動検知
最大インプットレベル	109 DBSPL
ゲイン	調整可能、30 dB範囲
ヘッドセット/マイクロフォン ポート	
目的	Listen TechnologiesヘッドセットまたはStandardmart-フォンヘッドセットを許可。マイク/ラインインプットとして使用可能(ページ19の「マイク選択」メニュー選択)。
コネクタ	 ティップ ヘッドセット左 + フ アースリング ヘッドセット右 + セカンドリング コモン/グラウンド スリーブ マイク/ラインインプット+
電源電圧向け呼びインプットレベル	-10dBu (0.24ボルト)
システム	
周波数特性	40 Hz to 15 kHz +/- 3dB, 22kHzローパスフィルター
SNR	70 dB, A- 特性、クリッピング閾値
THD	0.5% @ 1kHz, 22kHzローパス可能

LISTENTALK トランシーバー仕様続き

ラジオ

動作周波数	北米 - 1920から1930 MHz ヨーロッパ - 1880から1900 MHz
平均電源	北米 - 4 mW ヨーロッパ - 10 mW
典型的範囲	北米 - 屋内100 m、屋外200 m、条件による ヨーロッパ - 屋内150 m、屋外300 m、条件による
変調	GFSK - FHSS TDD/TDMA/DCA
セキュリティ	サブスクリプション - 40ビット (ピンフリー) 認証 - 32ビット 暗号法 - 64ビット

電源 & バッテリー管理

バッテリータイプ	リチウムイオン電池、再充電可能非独占取り外し可能、1200 mAh オプション - 単4乾電池コンパートメント
標準作動時間	リチウムイオン電池- 参加者モード - 12 時間 単4アルカリ乾電池 - 参加者モード - 7時間 リチウムイオン電池- リーダーモード - 7時間 単4アルカリ乾電池 - リーダーモード - 4時間
標準充電時間	4時間
電源セーブモード	信号喪失でのパワーダウン ヘッドセット(1分)切断のパワーダウン 充電中のパワーダウン

環境

温度 - 操作時	-10° C (14° F)から40° C (104° F)
温度 - 保管時	-20° C (-4° F)から50° C (122° F)
相対湿度	0から95%相対湿度、非結露

コンプライアンス

基準	保留 (FCC 部分15, ICS-03, CE, RCM, RoHS, WEEE)
----	--

* 仕様は通知なく変更する場合があります。

LISTENTALKドッキングステーション16 仕様*

物質

色	黒、クロムボタン、赤リーダーポケット
寸法 (H x W x D)	50 x 192 x 375 mm (1.97 x 7.56 x 14.77 in.)
ユニット容量	16 ユニット
ユニット 重量	1.73 kg (3.8 lbs.)
出荷重量	2.59 kg (5.7 lbs.)

電源

電源供給	100-240 VAC, 50-60 Hz
電源出力	12 VDC, 5.0 A, 60 W
電源コネクタ	5.5 mm (0.22 in.) OD x 2.3 mm (.09 in.) ID, バレルタイプ
電源コード	182.9 cm (72 in.) 入力電源コード、109.3 cm (43 in.) 出力コード

Inter接続s

接続/複数	USB タイプB
	電源

コンプライアンス

基準	UL, CE, RCM, RoHS
----	-------------------

*仕様は通知なく変更する場合があります。

LISTENTALK ドッキングステーション ケース 16 仕様*

筐体

ケース色	グレー & クロム
トレイ色	黒、クロム ボタン、赤リーダーポケット
寸法 (H x W x D)	190 x 350 x 465 mm (7.48 x 13.78 x 18.31 in.)
ユニット容量	16 ユニット
ユニット重量	5.13 kg (11.3 lbs.)
出荷重量	5.95 kg (13.1 lbs.)

電源

電源供給	100-240 VAC, 50-60 Hz
電源出力	12 VDC, 5.0 A, 60 W
電源コネクタ	5.5 mm (0.22 in.) OD x 2.3 mm (.09 in.) ID, バレルタイプ
電源コード	182.9 cm (72 in.) 入力電源コード、109.3 cm (43 in.) 出力コード

インターコネクト

接続/複数	USB タイプB
	電源

コンプライアンス

電源	UL, CE, RCM, RoHS
----	-------------------

* 仕様は通知なく変更する場合があります。

LISTENTALK システムセットアップ



ドッキングステーションの取付と接続

ListenTALKトランシーバーはドッキングステーションの有無に関わらず作動可能です。お客様のシステムにドッキングステーションがない場合、「各ListenTALKトランシーバーの作成と充電」(次)にお進みください。平面にドッキングステーションを取り付けます。電源をドッキングステーションや標準ACアウトレット(100/240 VAC, 50/60 Hz)に接続します。コンピュータ(USB)を介してドッキングステーションとそのトランシーバーをプログラム化するには、ListenTALKソフトウェアをインストールします(ページ21参照)。

LISTENTALKシステムセットアップ続き



ListenTALKトランシーバーの作成と充電

保護スクリーンカバーを取り外し、各トランシーバーから樹脂バッテリーアイソレーションタブをきれいにします。Charge ドッキングステーションのトランシーバーの充電、または各トランシーバーのマイクロUSBをUSB 充電器に接続します。100%充電になると、トランシーバーのステータスインジケータ が点灯します。代わりに、オプション アルカリ電池パックや単4アルカリ乾電池を挿入します。



ListenTALKリーダーの作成

各ListenTALKトランシーバーはリーダーまたは参加者である可能性があります。デフォルトモードは参加者です。リーダーを作成するには、いかなるトランシーバーもオンにして 赤いリーダークリップをトランシーバーに設置します。サブリーダーを作成するには、リーダークリップを参加者ユニットに置き、リーダーとペアリングします。

ペアリング トランシーバーによるListenTALKグループの作成

ListenTALKグループは少なくとも1人のリーダーと無制限の参加者そしてサブリーダー (サブリーダーはオプション)から成ります。参加者とサブリーダーのいるリーダーに ListenTALKグループをペアリングします。



ドッキングステーションとのペアリング

赤いドッキングステーションポケットにリーダーを置きます。参加者とサブリーダートランシーバーを黒いドッキングステーション ポケットに置きます(ページ 9の図を参照)。ドッキングステーション上のペアリングボタンを瞬間的に押します。ペアリングインジケータはペアリング中点滅し、それから瞬間的に点灯し、最終的にペアリングプロセスが完了すると消えます。15人以上の参加者とサブリーダーをペアリングするには、同じリーダーを使用してプロセスを繰り返します。



ドッキングステーションなしのペアリング - 近距離無線通信方法

リーダーの右ソフトボタンを長押ししてペアリングモードを初期化します。それから、各参加者とサブリーダーの後部に対しリーダー後部を触れることで、参加者とサブリーダートランシーバーをリーダーにペアリングします。ペアリングが成功すると、参加者またはサブリーダーがビー音を出し、そのグラフィックディスプレイにリンクシンボルを表示します。リーダーの右ソフトボタン を再度長押ししてペアリング モードを閉じます。

追加ListenTALKグループの作成

無制限のListenTALKグループがこれらのステップを繰り返すことで作成可能です。10のグループまで1つのエリアで同時に作動可能です。

既存グループに参加者を追加

ドッキングステーションにより、既存リーダーと新しい参加者またはサブリーダー トランシーバーをドッキングステーションに置き、ペアリング ボタンを瞬間的に押すだけです。ドッキングステーションなしの参加者の場合、リーダーをペアリング モードに置き、各新しい参加者またはサブリーダーに対してリーダーの後部に触れます。

イヤースピーカーまたはヘッドセットとの接続

ヘッドセットを各トランシーバーに接続します。参加者はトランシーバーの内蔵マイクロフォンを使用可能です。リーダーとサブリーダーは雑音下ではマイクロフォン備え付けヘッドセットを使用すべきです。



LISTENTALKトランシーバー – 一般的な操作

一般的な操作

ベルトクリップとランヤードランヤード

ランヤードを使用するには、その金属リングをベルトクリップ先端のスロットに留めます。それから、ランヤードを十分な長さまで調整し、使用者の頭の上から着けます。代わりに、使用者のベルトの上にベルトクリップを簡単に付けることもできます。

電源ボタン

1秒間電源ボタンを長押ししてトランシーバーをオンにします。3秒間電源ボタンを長押ししてオフにします。トランシーバーがオンの間、瞬間的に電源ボタンを押すと3秒間トランシーバーのステータスを表示します。

ボリュームボタン

ボリュームアップまたはボリュームダウンボタンを押してボリュームを増減します。

トランシーバーディスプレイとステータス

ディスプレイは数秒後に自動的に消えます。電源ボタンを瞬間的に押しトランシーバーステータスを確認します。いかなるボタン(例、ボリュームアップ/ダウン)を押せばその機能向けのディスプレイがアクティベートされます。機能ボタンはディスプレイがオフの場合でも通常作動します。

バッテリーステータス、充電とバッテリー交換

トランシーバーが充電を必要としている場合、ステータスインジケータがゆっくり点滅します。再充電可能 ListenTALKトランシーバーはドッキングステーション上で充電可能です。個々のトランシーバーを充電する場合、USB 充電器をそのマイクロUSBポートに接続します。オプションのアルカリ乾電池ケース備え付けトランシーバー上でバッテリー交換をするには、バッテリードアにあるボタンを押して下げバッテリーコンパートメントにアクセスします。単4サイズアルカリ性乾電池を挿入します。

内蔵マイクロフォン

静かな環境では、リーダーと参加者の両方がトランシーバーの内部マイクロフォンを使用可能です。

ヘッドセット備え付けマイクロフォンは雑音下に最適です。(www.listentech.com/assistive-listening/listentalk/tranceiver-headsets/)をご覧ください。

参加者ボタン

トークボタンを長押しして話します。ミュートにはリリースします。参加者はグループ全体、またはリーダーに設定されたトークバックモードによりリーダーとのみ話せます(ページ 17参照)。リーダーが「オフ」モードを選択している場合、参加者トークボタンは機能しません。1回に1人の参加者のみ話せます。ソフトボタンは参加者トランシーバーでは無効です。

リーダーボタン

トークボタンを押してリリースするとトークとミュート間をトグルします。リーダーのトークボタンを押す必要はありません。リーダーは、ページ17で述べられたようにListenTALKトークバックモードを構成します。また、リーダーはグループペアリングをコントロールしてグループ名とペアキーをサブリーダーと参加者に渡します。

サブリーダーボタン

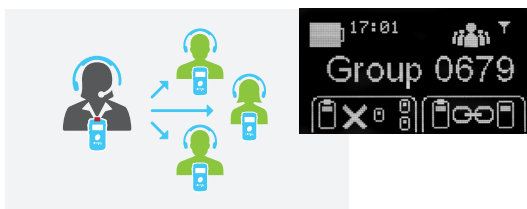
サブリーダーのトークボタンはリーダーのそれと同じように作動します。サブリーダーは新しいサブリーダーと参加者をペアリングしてグループメンバーを作れます。そうする場合、サブリーダーはグループ名とペアキーをリーダーから渡されます。

リーダーとサブリーダーとの操作

ListenTALKグループは1人のグループリーダーと無制限のサブリーダーと参加者です。単独サブリーダーは1人以上により導かれる二重インストラクターのクラスやツアーグループに役立ちます。1人のリーダーと多数のサブリーダーのいるグループはイベント生産、スポーツ活動やトレーニングセッション向け多目的ワイヤレスインターコムであり、倉庫、製造環境または建設現場でのワークグループコラボを円滑にします。サブリーダーは新しいサブリーダーまたは参加者をペアリングしてグループメンバーの作成やグループ名やペアキーをリーダーから渡されます。ページ 22のアプリケーションも参照ください。

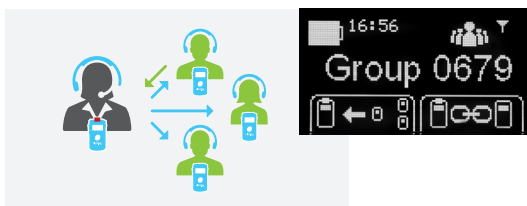
LISTENTALKシステムトークバックモード

リーダーの左ソフトボタンを繰り返し押してリリースし3つのトークバックモードをトグルします。オフモードでは、参加者とサブリーダートークバックが無効です。リーダーモードでは、リーダーのみ参加者やサブリーダーの質問を聞くことができます。グループモードでは、参加者とサブリーダーの質問がグループ全体に広まります。リーダーのグラフィックディスプレイはトークバック モード を示します(下部参照)。1回に1人の参加者またはサブリーダーのみ話せます。



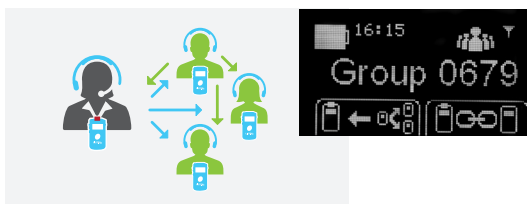
オフモード - リーダーのディスプレイに矢印がない

参加者とサブリーダーはリーダーの話を聞けるが応答できない。



リーダーモード - リーダーのディスプレイに左向き矢印がある

参加者とサブリーダーはリーダーの話を聞き、リーダーに質問を提起できる。



グループモード - リーダーのディスプレイに左右向き矢印がある

参加者とサブリーダーはリーダーや他のグループメンバーの話を聞き応答できる。

LISTENTALKセキュリティ

ListenTALKグループ内の会話は特殊ペアキーにより暗号化され、グループを別のグループと分け、各グループ内のセキュアな会話を保証します。ペアキーはグループリーダーにより生成され、各サブリーダーと参加者により共有されます。サブリーダーは新しいトランシーバーをグループに追加し、リーダーのペアキーをこれら新しいグループメンバーに渡します。

ListenTALKペアキーセキュリティは、以下で述べられる通り、ListenTALK ソフトウェアと、またはリーダーの新しいペアキーメニュー選択を介して構成可能です。

Never - 通常セキュリティ (デフォルト)

この(デフォルト)選択により、ペアキーはグループ内で決して変更しません。これにより無制限のグループ拡大を許可する間グループ内でセキュアな会話を可能にし、また大勢の参加者がツアーからツアーまで様々であるかもしれないミュージアムのような開催地に適した選択です。

8時間、4時間または1時間 - 高度なセキュリティ

この選択により、選択された時間ウィンドウ内でのグループ拡大の際に既存ペアキーが維持されます。時間ウィンドウの期限が切れると、サブリーダーや参加者とペアリングして新しいグループの一部として作る時、リーダーは新しいペアキーを生成します。これにより既存グループを拡大できますが、選択された時間ウィンドウ以内だけです。

Always - 最高のセキュリティ

この選択により、サブリーダーや参加者とペアリングして新しいグループの一部とする時、リーダーは常に新しいペアキーを生成します。これは既存グループの拡大を無効とし、最高セキュリティ 開催地に最適な選択です。

グループのペアキーの再設定

グループ名を変更せずにグループのペアキーを再設定することは可能です。これはトランシーバーが置き忘れ、グループからそのトランシーバーを排除したい場合に役立つ可能性があります。それにより、会話が聞かれる、または会話への参加を防ぎます。

ListenTALKグループ用ペアキーを再設定するには、リーダー、サブリーダー(複数)そして参加者を彼らの各ドッキングステーションポケットに置きます。それから、5秒間ドッキングステーションペアリングボタンを長押しします。ペアリングインジケータとステータスインジケータが瞬間的に点滅してから点灯し成功を示します。

ListenTALKソフトウェアスイートはこのプロセスも実行可能です。

ドッキングステーションが無くListenTALKグループ用ペアキーを再設定するには、リーダーの新しいペアキーメニュー選択を「常に」に設定します。それから、グループのトランシーバー全てに対して近距離無線通信ペアリング 操作を繰り返します。

ドッキングステーションとソフトウェアは、リーダーの新しいペアキーメニュー選択に関わらず、新しいペアキーを押し進めることを留意ください。

LISTENTALKトランシーバープログラミング

ListenTALKトランシーバーはドッキングステーションにそれを置き、ListenTALK ソフトウェアが備え付けられたWindowsコンピュータにドッキングステーションUSBポートを接続することでプログラム化が可能です。個々のListenTALK トランシーバーは、ListenTALK ソフトウェアが備え付けられた Windowsコンピュータ上のUSB ポートにマイクロUSBを接続することでプログラム化が可能です。個々のListenTALKトランシーバーは、グラフィックディスプレイをモニタリングする際にトランシーバー上の特定ボタンを押すことでプログラム化が可能です。プログラミング選択は以下のトピックで述べられています。

コンピュータの無い個々のListenTALKトランシーバーのプログラミング

ListenTALKトランシーバーメニューにアクセス

トランシーバーをオンにします。それから、同時に3秒間電源ボタンとボリュームダウンボタン を長押しして、プログラミングメニューにアクセスします。ディスプレイは左上の「メインメニュー」を示します。何もしないと20秒後にトランシーバーは自動的にメニューを閉じます。



メニューのナビゲート

ボリュームアップとダウンボタンを使用してメニューアイテムをスクロールします。ディスプレイは現在のメニューアイテムを大きな字体で示します。前や次のメニューアイテムが現在のメニューアイテムの上下により小さな字体で表示されます。

右ソフトボタンを瞬間的に長押ししてメニューアイテムにアクセスします。それから、ボリュームアップとダウンボタンを使用してこのメニューアイテムのオプションをスクロールします。オプションを選択するには、再度右ソフトボタンを瞬間的に長押しします。メニューアイテムは印が入って表示されますので、選択を確認します。

それから、左ソフトボタンを瞬間的に長押ししてこのメニューアイテムを閉じます。

ListenTALKトランシーバーメニューを閉じる

トランシーバーメニューを閉じ選択を保存するには、左ソフトボタンを2度押します。ディスプレイは「更新済み」を示し、選択が保存されたことを確認します。

トランシーバー メニュー

選択 ソフトボタン

全てのロックを外す(デフォルト): 両方のソフトボタンのロックを外すので、ペアリングモードに入ることが可能であり、トークバックモードが変更可能です。

全てをロックする: 両方のソフトボタンをロックするので、ペアリングモードに入ることができず、トークバックモードは変更不可能です

TBのみロック: 変更されたトークバックモードをロックしますが、ペアリングモードのエンターを許可します。

ペアーのみロック: エンターからペアーモードをロックしますが、トークバックモードのエンターを許可します。

マイク選択

自動(デフォルト): 存在する場合外部マイクを自動的に選択し、外部マイクが検知されない場合ListenTALKの内蔵マイクを選択します。

内蔵: ListenTALKの内蔵マイクroフォンの強制使用。

外部: 外部マイクroフォンを強制使用。

ライン: 外部使用、-10dBu ラインレベルソースを許可。

マイクゲイン

自動(デフォルト): トランシーバーの内蔵マイクroフォンとほとんどの外部マイクroフォンに適用。

数値: 外部マイクroフォンやラインレベルソースのゲインを手動で調整するには、3dB増分の増減±12dBまでスクロールアップまたはダウンします。

明るさ

自動(デフォルト): ListenTALKの光センサーを使用してディスプレイ明るさを調整します。

明るくまたは暗くする: ディスプレイの明るさを永久的に調整します。

オフ: 通常使用の間はオフにします。(ボリュームアップ&ダウン、トークボタンは機能的状態です)。



自動電源

オン(デフォルト): トランシーバーはドッキングステーションに戻ると自動的にオフとなり充電し、ドッキングステーションから放すとオンになります。

オフ: トランシーバーのオン/オフステータスを手動でコントロールします。

自動 オフ

30分(デフォルト): 30 分間操作が無い状態が続くとトランシーバーをオフにします。(リーダーにリンク無し)。

20分または10分: 20分または10分間操作が無い状態が続くとトランシーバーをオフにします。

オフ: 自動オフ機能を無効にします。

ジャックセンス

オン(デフォルト): ヘッドセットがヘッドセット/マイクロフォンポートに接続するとトランシーバーをオンにします; ヘッドセットが切断されるとトランシーバーをオフにします。

オフ: トランシーバーのオン/オフステータスを手動でコントロールします。

サイドトーン

デフォルト: 話し手が自分のヘッドセットにより通常レベルで彼らの声を聞きます。

静かまたは大きな音: 話し手の声レベルを自分のヘッドセットで増減します。

新しいペアキー

このメニュー選択は – リーダー上でのみ機能します – ListenTALK新ペアキーセキュリティをコントロールします。ページ18のListenTALKセキュリティまたはこのメニュー選択のディスカッションをご参照ください。

モード選択

リーダークリップ(デフォルト)使用: トランシーバーをリーダーに変換するには、リーダークリップを挿入する必要があります。

強制リーダー: リーダークリップなしにトランシーバーをリーダーに変換します。

言語

英語(デフォルト): メニュー用デフォルト言語は英語です。

スペイン語、ドイツ語、フランス語; スペイン語、ドイツ語またはフランス語のメニュー。

デバイスを再設定する

いいえ(デフォルト): 既存メニュー設定、グループ名とペアキーの保持。

はい: ListenTALKを工場出荷時のデフォルト設定に再設定するには、「はい」を選択します。

ListenTALKドッキングステーション操作 (ページ9から10参照)

ListenTALKドッキングステーションは、充電器とプログラミングステーションとして機能し、ListenTALKトランシーバーに快適なストレージを提供します。平面にドッキングステーションを取り付けます。電源をドッキングステーションや標準ACアウトレット(100/240 VAC, 50/60 Hz)に接続します。ListenTALK トランシーバーをリーダー と参加者ポケットに置きトランシーバーの充電とプログラミングをします。

ドッキングステーションのあるListenTALKグループを作成

リーダーまたはサブリーダー を作成するには、赤いリーダークリップをトランシーバーに留めます。リーダークリップを参加者ListenTALKから省きます。リーダーをドッキングステーションの赤いリーダーポケットに置きます。サブリーダー(複数)と参加者をドッキングステーションの黒い参加者ポケットに置きます。

グループを作成するには、ドッキングステーション上のペアリングボタン を瞬間的に押してリーダーをサブリーダー(複数)と参加者をペアリングします。ペアリングインジケータはペアリング中点滅し、それから点灯してペアリングプロセスが完了すると最終的に消えます。

ドッキングステーションのあるグループのペアキーの再設定

ListenTALKグループ用ペアキーを再設定するには、リーダー、サブリーダー(複数)と参加者をそれぞれのドッキングステーションポケットに置きます。それから、5秒間ドッキングステーションペアリングボタンを長押しします。ペアリングとステータスインジケータが瞬間的に点滅してから、点灯し成功を示します。

ドッキングステーションのあるListenTALK ステータスの確認

ドッキングステーションステータスボタンを押します。ステータスインジケータが光り、個々のListenTALKグラフィックディスプレイがListenTALKトランシーバー ID、グループ名、グループ番号、バッテリーステータス、信号強度とその他情報を示します。

ListenTALK拡張機能

マルチプルListenTALKグループを使用

各ListenTALKグループはそれ自体のコミュニケーションチャンネルで作動します。無制限のListenTALKグループを作成可能であり、10までのグループが想定エリア内で障害なく作動することが可能です。ListenTALKグループには1人のグループ リーダーそして無制限のサブリーダーと参加者がいます。グループ内のコミュニケーションは特殊ペアキーで暗号化され、同時翻訳、ツアーガイドやその他アプリケーション向けのセキュアな会話を必要とする設備にとってListenTALKを理想的な選択に仕上げています。詳細に関しましては、ページ18の「ListenTALKセキュリティ」を参照ください。

充電とバッテリー交換

再充電可能ListenTALKトランシーバーはドッキングステーション上で充電可能です。個々のトランシーバーを充電する場合、USB 充電器をそのマイクロUSBポートに接続します。

再充電不可能なトランシーバーのバッテリーを交換するには、バッテリードアにあるボタンを押し下げバッテリードアを下に滑らせます。単4サイズアルカリ性乾電池を挿入します。

ListenTALKファームウェアの更新

ListenTALKトランシーバーファームウェア更新はListenTALKソフトウェアスイートを通して利用可能です。

ListenTALKソフトウェア

ListenTALKソフトウェアにより、WindowsコンピュータがListenTALKシステムをプログラム化してListenTALK ステータスの確認を可能にします。インストール後、ソフトウェアは自動的にドッキングステーションまたはコンピュータのUSBポートに繋がった個々のトランシーバーに接続します。

ListenTALKソフトウェアスイート機能は、完全なセットアップ、在庫管理、グループ作成そしてネーミングを含みます。スイートは広範囲のヘルプファイルを含みます。

ListenTALKアクセサリー

幅広いアクセサリーにより、ListenTALKシステムが多くの異なるアプリケーションに向け構築可能です。ListenTALKアクセサリーの完全リストと詳細は以下で確認できます: www.listentech.com/assistive-listening/listentalk/

ドッキングステーション ケース16

ドッキングステーションケースは快適なポータブルフォームでドッキングステーショントレイ16と同じ機能を備えます。

充電器

ドッキングステーションプログラミング機能を必要としないアプリケーションに関して、ListenはワンポートまたはフォーポートUSB 充電器を提供しています。

ヘッドセット

幾種類かのヘッドセットが利用可能であり、静かな環境や雑音下でのListenTALK使用を可能にします。ListenTALKトランシーバーは第三者イヤフォンや3.5mmヘッドセット/マイクロフォンポートを介したイヤフォン備え付けマイクロフォンを許可します。ListenTALKトランシーバーは内蔵マイクロフォンを備え、静かな環境で参加者が使用できます。

その他アクセサリー

その他アクセサリーは予備リチウムイオン電池再充電可能トランシーバーバッテリーパック、単4アルカリ性乾電池コンパートメントおよびトランシーバー保護ケースを含みます。

ListenTALKアプリケーション

ツアーガイドシステム

ListenTALK システムはミュージカル、工場またはその他設備ツアーガイドシステムとしての使用に理想的です。ページ15で述べられた通りにListenTALKグループを作成します。リーダーのトークボタンを押しリリースしてトークとミュート間をトグルします。参加者トークボタンを長押しし、リーダーのトークバックモード選択により定義されたようにリーダーやグループと話します。(ページ17参照)。

リーダーとサブリーダーのいるツアーガイドシステム

サブリーダーとして知られる、第二のListenTALKリーダーは、2つのインストラクターツアー、教室または第二のリーダーがグループを連れ添いグループメンバー全員に話しかけるアプリケーションに役立ちます。赤いリーダークリップをトランシーバーに挿入し、それをリーダーとペアリングして(ページ15参照)サブリーダーを作成します。リーダーはグループ名、ペアキーとトークバックモードを管理します。サブリーダートークボタン はトークとミュートモード間をトグルします。サブリーダーは新しいサブリーダーや参加者をペアリングして、グループメンバーを作りグループ名とペアキーをリーダーから渡します。

トレーニングとコラボ

複数のサブリーダーがいるListenTALKシステムは会社やスポーツ設定でのトレーニングに理想的です。

雑音下で必要な際に、雑音消去、ヘッドセット備え付けマイクロフォンを選択し、サブリーダーや参加者からのトークバックの制限や有効を希望通りにListenTALKシステムトークバックモードを設定します(ページ17参照)。

同時翻訳

1つの言語で話す参加者が第二言語への翻訳により混乱しないように、ListenTALKグループと分け、2つ作成することが望ましいです。このアプリケーションに関して、ページ15に述べられた通り通常の方法で2つの分かれたListenTALKグループを作成します。ListenTALKソフトウェアスイートにより、グループが「英語」や「スペイン語」のような説明的な名前を持つことが可能です。

ワイヤレスインターコム

2つ以上のListenTALKトランシーバーは、イベント生産、スポーツ活動やトレーニングセッション向け多目的ワイヤレスインターコムとして使用可能であり、倉庫、製造環境または建設現場でのワークグループコラボを円滑にします。リーダーとしての1つのトランシーバーやサブリーダーとしてのその他トランシーバーを備えたListenTALKグループを作成してハンズオフ、全二重会話を可能にします。

リーダーやサブリーダー上のトークボタンはトグルです – 一回タッチすると話せます; 再度タッチするとミュートとなります。これによりリーダーやサブリーダーはハンズオフ、全二重会話を保持できます(両方トークモード)。第二のサブリーダーが自分のトークボタンを押す場合、会話を引き継ぎ、最初のサブリーダーは自動的にミュートとなります。複数のサブリーダーがこのような方法でリーダーと会話を持つことができ、他のサブリーダーは聞くことができます。この機能を可能にするには、リーダーは左ソフトボタンを使用して「グループ モード」を選択します。また、ページ17の「リーダーとサブリーダーとの操作」を参照してください。

ListenTALKシステムトラブルシューティング

ListenTALKに電源が無い場合

ListenTALKが完全に充電されたバッテリー状態である、または標準USB充電器に接続されていることを確認します。トランシーバー上の電源ボタンが押されてトランシーバーがオンであることを確認します。これが作動しない場合、バッテリーが適切に取り付けられ交換バッテリーが取り付けられている、またはそのどちらかを確認します。

オーディオが無い場合

ListenTALKが他の参加者やリーダーを備えた同じグループ上にあることを確認します。ボリュームコントロールが少なくとも25%までになっていることを確実にします。ヘッドセットがあらゆる方法でプラグインされていることを確認します。

オーディオのディストーション

トランシーバー上のオーディオの音が大き過ぎないことを検証します; これはディストーションの原因になります。ヘッドセットコネクタがずっとトランシーバー上のヘッドセット/マイクロフォン ポートに押されていることを確認します。異なるヘッドセットで試します。

ListenTALKのシグナルをピックアップできない

ListenTALKリーダーと参加者が確実に同じグループメンバーであることを確認します。

ListenTALKのシグナルをピックアップできるが、波長が合っていないようだ

ListenTALKリーダーと参加者を確認し、同じグループメンバーであることを確信してリーダーにより近づきます。

バッテリーが充電されない(再充電可能ListenTALKトランシーバー)

バッテリー接続に関与するListenTALKバッテリードアからクリア樹脂プルタブが取り外されたことを検証します。バッテリーが適切に取り付けられ、トランシーバーがドッキングステーションポケットに完全に挿入されたことを確認します。USB充電器を使用する場合、別のUSBケーブルで試します。充電デバイスを確認し適切な電源アウトレットにプラグインされ、電源がアウトレットで利用可能であることを検証します。これが作動しない場合、交換バッテリーを取り付けます。

USB充電器からListenTALKトランシーバーを起動させたい

標準USB充電器をListenTALKトランシーバー側にあるマイクロUSBコネクタ にプラグインするだけです。

FCC(連邦通信委員会)声明およびカナダ産業省声明

本デバイスはFCC規則パート15に遵守します。動作は以下の2つの条件に従います:

(1) これらデバイスは有害な干渉が発生することはない。また(2) これらデバイスは、望まない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、全ての干渉に対応できなければなりません。

本製品は、FCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて準拠が証明されています。これらの制限は住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。易峰、特定の取付状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合、干渉の有無は製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- ・ 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- ・ 製品と受信アンテナの距離を離す。
- ・ 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- ・ 販売店か実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

FCCおよび IC通知

- ・ FCC認証およびISEDカナダ認証通知はバッテリーコンパートメントの中または製品メニュー内にあります。
 - 製品メニューには、ボリュームダウンや電源ボタンを同時に押すことでアクセス可能です。
 - FCC認証およびISEDカナダ認証には「About」メニューが表示されるまでボリュームダウンボタンを押し、印の入ったソフトボタンを押すことでアクセスします。
- ・ FCC ID et avis d'attestation IC ISED se trouvent à l'intérieur du compartiment des piles ou dans le menu produits.
 - Le menu produit peut être l'accès en appuyant simultanément sur la diminution du volume et le bouton power.
 - l'ID FCC et IC ISED est accessible en appuyant sur le bouton volume faible jusqu'à ce que le menu « A propos » s'affiche en appuyant sur le bouton doux case à cocher.

高周波暴露に関する警告

- ・ 本製品は制御されていない環境下のポータブルデバイスを着用した身体に関する対して規定されたFCCおよびICの電磁波暴露制限に準拠しています。
- ・ 本製品は安全に着用され、片手で操作またはランヤードの着用または衣服にクリップされた身体付近で使用可能です。
- ・ Cet équipement est conforme à la FCC et IC limites d'exposition aux rayonnements définies pour appareils portables corps portés dans un environnement non contrôlé.
- ・ Cet équipement peut être porté et exploité suivante à votre corps comme sur une longe ou ordinateur de poche ou découpé aux vêtements en toute sécurité.

ICES声明

本デバイスはICES-003のBクラスに準拠しています。

本デバイスはカナダ政府産業省のライセンス適用免除RSS標準に適合しています。動作は以下の2つの条件に従います:

- (1) 本デバイスは干渉が発生することはない; また、
- (2) 本デバイスはデバイスの望まない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、全ての干渉に対応できなければなりません。

Cet appareil est conforme à la classe B de l'ICES-003

Cet appareil est conforme avec Industrie Canada RSS standard exempts de licence (s). Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes:

- (1) cet appareil ne peut pas provoquer d'interférences et
- (2) cet appareil doit accepter toute interférence, y compris les interférences susceptibles de provoquer un fonctionnement indésirable de l'appareil.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

保証

保証およびサービス情報に関しまして、ホームページ(www.listentech.com/support/warranty) をご覧ください。

連絡先情報

LISTEN TECHNOLOGIES 14912 Heritage Crest Way, Bluffdale, Utah 84065-4818

アメリカ電話: +1.801.233.8992 通話無料: 1.800.330.0891 www.listentech.com



LISTEN TECHNOLOGIES 14912 Heritage Crest Way, Bluffdale, Utah 84065-4818 USA
Phone: +1.801.233.8992 **Toll-Free:** 1.800.330.0891 www.listentech.com

Copyright © 1998 - 2018 Listen Technologies Corporation. All rights reserved.
20171122